

長かった夏のような暑さもようやく落ち着き、次第に秋の気配が感じられるようになりました。
今月も文化祭に2学期のスタートと、みなさんにとって慌ただししいひと月となりそうですが、
ぜひ「読書の秋」を感じてもらえると嬉しいです。
今月号では新着図書とおすすめ図書を紹介します。

※第173回芥川賞・直木賞は該当作なし

毎年2回、選考が行われる芥川賞と直木賞ですが、第173回はともに「該当作なし」という結果になりました。該当作が選ばれないのは1998年1月の第118回以来のことで、創設以来6回目です。

今月号では、直木賞に候補作として選ばれた作品の中から、図書館に蔵書のある3冊を紹介します。読書の参考にしてください。

・嘘と隣人 / 芦沢央 著 / 文藝春秋

知りたくなかった。あの良い人の”裏の顔”だけは……。ストーカー化した元パートナー、マタハラと冤罪、SNSでの誹謗中傷・脅し……。リタイヤした元刑事の平穏な日常に降りかかる事件の数々。身近な人間の悪意が白日の下に晒された時、捜査権限を失った男・平良正太郎は、事件の向こうに何を見るのか？

・踊りつかれて / 塩田武士 著 / 文藝春秋

言葉が異次元の暴力になるこの時代。SNSで苛烈な誹謗中傷を受けた人気お笑い芸人・天童ショージは自ら死を選んだ。一方、バブル期の華やかな芸能界を駆け抜けた伝説の歌姫・奥田美月は写真週刊誌のデタラメに踊らされ、人前から姿を消した。彼らが目にした絶望、それは――。

・逃亡者は北へ向かう / 柚月裕子 著 / 新潮社

雪がちらつく3月の東北一。震災直後に殺人を犯してしまった真柴亮。一通の手紙を手に北へ向かう途中、家族とはぐれた子供と出会う。一方、刑事の陣内康介は、津波で娘を失いながらも真柴を追う。震災の混乱のなか、ふたつの殺人事件が起きた。逃亡する容疑者と追う刑事。ふたりはどこへ辿り着くのか――。

図書館では以上の3冊を購入済みですが、他の候補作も読みたいという人は、ぜひリクエストをお願いします。また過去の受賞作も多数揃っていますので、興味のある人は司書室に声をかけてください。



新着図書紹介

- ・どうせ世界は終わるけど / 結城真一郎 / 小学館 / 913ユ
- ・スマホ時代の哲学 / 谷川嘉浩 / ディスカバー携書 / 104
- ・図解 眠れなくなるほどおもしろいメンタルの話 / 益田裕介 監修 / 日本文芸社 / 493
- ・カラフル / 阿部暁子 / 集英社 / 913ア
- ・独断と偏見 / 二宮和也 / 集英社新書 / 916
- ・問題。 / 早見和真 / 朝日新聞出版 / 913ハ
- ・蛍たちの祈り / 町田そのこ / 東京創元社 / 913マ
- ・マスカレード・ライフ / 東野圭吾 / 集英社 / 913ヒ
- ・新 謎解きはディナーのあとで2 / 東川篤哉 / 913ヒ
- ・銭湯図解 / 塩谷歩波 / 中央公論新社 / 673
- ・妻はりんごを食べない / 瀧羽麻子 / 幻冬舎 / 913タ
- ・嘘と隣人 / 芦沢央 / 文藝春秋 / 913ア
- ・神様の暇つぶし / 千早茜 / 文春文庫 / 913チ
- ・ロイヤルホストで夜まで語りたい / 青木さやか ほか / 朝日新聞出版 / 914
- ・ミーツ・ザ・ワールド / 金原ひとみ / 集英社文庫 / 913カ
- ・給水塔から見た虹は / 窪美澄 / 集英社 / 913ク
- ・よみがえる「学校の怪談」 / 吉田悠軌 / 集英社 / 388
- ・薬屋のひとりごと 16 / 日向夏 / ヒーロー文庫 / 913ヒ
- ・休み時間の過ごし方 / 團康晃 / 烽火書房 / 371
- ・世界のお弁当とソトごはん / 岡根谷実里 / 講談社 / 383

新着図書から

「マスカレード・ライフ」 東野圭吾 著

ホテル・コルテシア東京で開催されることになった、「日本推理小説新人賞」の選考会。当日、文学賞受賞の候補として、ある死体遺棄事件の重要参考人が会場に現れる！？警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に、新たな活躍をみせる最新作！

前作で新田が刑事を辞める展開になり、これでシリーズも終わりか……と残念に思っていたのですが、ホテルの保安課長になっても元刑事の勘は健在でした。新田の若かりし頃の話や、過去作品で確執があるように描かれていた父親も登場します。シリーズファンの人はもちろん、興味を持った人はぜひ読んでみてほしいです。



今月のひとこと

今月号では直木賞候補作品を紹介しましたが、近ごろ選書をしていると、SNSを取り上げる作品が、とても多い印象を受けます。それだけ社会問題になっているということの表れなのでしょう。重いテーマになっている作品も多いですが、ぜひみなさんからも読んでほしい、日ごろのSNSの使い方について、考えるきっかけになってほしいと思います。

